

柔軟な学生目線 × IT 技術の介護で

利用者の快適さや笑顔につなげる、介護支援の更なる充実を実現！



社会福祉法人もやい聖友会
理事長 権頭 喜美恵さん

01

有給インターンシップを知ったきっかけは何ですか？

2024年に開催された「問題解決 Expo2024」に行ったときに、たまたま九州工業大学（九工大）のブースを見つけ、有給インターンシップ制度を知りました。もともとご縁のある九工大柴田教授から、介護人材確保だけでなく、介護生産性向上や研究の観点から学生が現場を知ることの意義をお聞きしていたこともあり、説明を受けて、ますます興味深い制度と感じました。

02

有給インターンシップに申し込んだ目的を教えてください

介護現場においても DX 導入や介護ロボットの活用といった取り組みが進んでいく中で、事業所が、何を、どう導入するのかは非常に難しいところです。その判断材料を得るために、工学系やロボットに強い九工大生の発想やスキルを借り、問題解決のきっかけにつなげたいと思い、有給インターンシップに申込みました。



03

インターンシップ生を受け入れた感想をお聞かせください

九工大生が自発的に利用者の様子を観察し、使いにくかった車椅子のブレーキレバーを、3Dプリンター技術で使いやすく作ってくれました。現場のスタッフは当たり前になっていることを、学生の柔軟な発想で解決できた出来事でした。何より、利用者に喜ばれたことが良かったです。

04

この制度を活用して得られた成果はありますか？

当事業所では、利用者が「笑顔で快適な時間を過ごす」ことを大切にしています。車椅子のブレーキレバーはまさにその一つであり、DX と介護のつながりを考えるいい機会にもなりました。また、今回のような個人に合ったオーダーメイドの介護道具の導入は、スタッフの負担軽減にもつながりました。

参加学生の声

介護現場を知らない状況では、介護士や高齢者の気持ちを推測してものづくりを進めなければなりません。しかし、有給インターンシップを通して、介護現場ではどんな業務が大変か、技術で助けて欲しいことは何かと尋ねると、学生の私には想像もしていなかったご回答をいただきました。「技術者目線と現場の目線は違う」と頭では理解していましたが、このずれを体験できたのが、有給インターンシップです。また、高齢者の皆様はとても明るく、介護施設に対する世の中の印象よりも、断然に輝いていました。有給インターンシップ生にご協力くださる、介護施設の皆様には、本当に感謝しかありません。

生命体工学研究科 人間知能システム工学専攻 1年



九工大生との活動風景

Student's voice

社会福祉法人もやい聖友会

<https://moyai.or.jp/>

理事長：権頭 喜美恵
〒806-0057
北九州市八幡西区鉄王二丁目2番36号

Company overview



社会福祉法人もやい聖友会は「おたがいさまで笑顔がいっぱい」を基本理念として、介護事業所・保育事業所・障がい福祉事業所の施設運営のほか、医療、福祉、そしてまちが一体となった誰ひとりも孤立しない安全安心な次世代を育てられる地域共生社会を目指してさまざまな活動、取り組みを行っています。

